

立命館大学大学院
2022年度実施 入学試験

専門職学位課程

【専門職大学院】
経営管理研究科
経営管理専攻

入試方式	プログラム	実施月	論述	
			ページ	備考
社会人入学試験(筆記試験型)	マネジメントプログラム	10月	P.1～	
		1月	P.3～	
		2月	P.5～	
10月				
1月				
2月				
社会人入学試験(企業等推薦型)		10月		
		1月		
		2月		
社会人入学試験(自己推薦型)	10月			
	1月			
	2月			
一般入学試験	キャリア形成プログラム	10月	P.1～	
		1月	P.3～	
		2月	P.5～	
10月		P.1～		
1月		P.3～		
7月				
10月				
1月				
2月				
学内進学入学試験		7月		
		10月		
		1月		
APU特別受入入学試験		2月		
		7月		
	10月			
飛び級入学試験	1月			
	10月			
	1月			

【表紙の見方】

×・・・入学試験の実施がなかった等の理由で入学試験問題の作成がなかったもの、または、問題を公開しないもの
斜線・・・学科試験(筆記試験)を実施しないもの

2022 年 10 月 22 日

2022 年度実施（2023 年 4 月入学）

立命館大学大学院 経営管理研究科（専門職学位課程）

論述試験問題（全方式共通）

＜試験にあたっての諸注意＞

- ・試験時間は、10 時 15 分～11 時 15 分です。
- ・持ち込み許可物件はありません。
- ・解答は別紙「解答用紙」に記入すること。

以下の**問題－A**もしくは**問題－B**のいずれか一つを選び、解答しなさい。
なお、解答は所定の解答用紙を使用し、問題記号を記してから始めること。

問題－A

2020 年度以降、経済産業省・中小企業庁では、中小企業の事業承継の施策を強化している。2020 年 3 月には「中小 M&A ガイドライン」を策定し、2022 年 3 月には「事業承継ガイドライン」と「中小 PMI ガイドライン」〔注〕を策定した。

そのことを踏まえ、以下の 2 問すべてに回答しなさい。

〔注〕 M&A 締結後の統合作業

- 問 1 経済産業省・中小企業庁が「中小 M&A ガイドライン」や「事業承継ガイドライン」、「中小 PMI ガイドライン」を策定した背景を、10 行以内で説明しなさい。
- 問 2 中小企業の事業承継について、どのような課題に直面するのか、そして、その課題に対して、どのように解決することが可能なのか、具体的な事例を挙げて 15 行以内で論じなさい。

問題－B

日本企業では、長らく「三種の神器」と呼ばれる雇用慣行が実施されてきたが、様々な経済環境の変化を受けて、この慣行を廃する動きが多くみられるようになった。例えば、パナソニック HD 傘下のパナソニックインダストリー社では、2022 年 10 月より、国内拠点の課長職と部長職を公募制にすると発表をおこなった（該当するポストの数は、それぞれ約 750 と、約 200 とのことである）。

日本的経営の「三種の神器」と、その変化に関連して、以下の問 1～3 のすべてに解答しなさい。

- 問 1 日本的経営の「三種の神器」の 1 つである「年功序列制」について、3 行以内で説明しなさい。
- 問 2 上記に示したパナソニックインダストリー社の例では、条件が合致した場合、20 歳代で管理職となる可能性があるとのことである。これ同様に、若年層でも管理職ポストに就くことを可能にする大企業が増加している。このような制度が導入されることによるメリットを 2 つ以上示し、合わせて 10 行程度で説明しなさい。
- 問 3 このような制度が大企業でも導入されることによる、デメリットとして考えられるものを 2 つ以上示し、合わせて 10 行程度で説明しなさい。

＜以下、余白＞

2023 年 1 月 21 日

2022 年度実施（2023 年 4 月入学）

立命館大学大学院 経営管理研究科（専門職学位課程）

論述試験問題（全方式共通）

＜試験にあたっての諸注意＞

- ・ 試験時間は、10 時 15 分～11 時 15 分です。
- ・ 持ち込み許可物件はありません。
- ・ 解答は別紙「解答用紙」に記入すること。

以下の問題－Aもしくは問題－Bのいずれか一つを選び、解答しなさい。
なお、解答は所定の解答用紙を使用し、問題記号を記してから始めること。

問題－A

米国の消費者物価指数は 2021 年春から上昇し、2022 年夏から上昇率が鈍化するようになっている（米国労働省労働統計局データ）。他方、日本の消費者物価指数は 2022 年から上昇している（総務省統計局データ）。

以上を踏まえて、消費者物価について、以下の 2 問すべてに回答しなさい。

問 1 2021 年春以降に米国で、2022 年以降に日本で、消費者物価指数が上昇した要因について、12 行以内で述べなさい。

問 2 日本の消費者物価指数の上昇が、日本企業の経営にいかなる影響を及ぼすかについて、12 行以内で述べなさい。

問題－B

近年のイノベーションにおいて、デジタルテクノロジーを活用した新アプリや新サービスが注目されている。それを踏まえて以下の 3 問すべてに回答しなさい。

問 1 あなたが最近使いはじめたアプリ/サービスの具体名をひとつ挙げ、その主な機能・特長とあなたの使い方を分かりやすく説明してください。（10 行以内）

問 2 そのアプリ/サービスは今後どれくらい成長すると思うか、その理由を含めて論じなさい。（5 行以内）

問 3 そのアプリ/サービスを例にイノベーションについて論じてください。（10 行以内）

＜以下、余白＞

2023 年 2 月 18 日

2022 年度実施（2023 年 4 月入学）

立命館大学大学院 経営管理研究科（専門職学位課程）

論述試験問題（全方式共通）

＜試験にあたっての諸注意＞

- ・試験時間は、10 時 15 分～11 時 15 分です。
- ・持ち込み許可物件はありません。
- ・解答は別紙「解答用紙」に記入すること。

以下の問題－Aもしくは問題－Bのいずれか一つを選び、解答しなさい。
なお、解答は所定の解答用紙を使用し、問題記号を記してから始めること。

問題－A

2022 年以降、先進国を中心に金利が上昇し、それにより多方面にわたって様々な影響を及ぼしている。これに関して、以下の 2 問すべてに回答しなさい。

- 問 1 2022 年以降の金利の上昇は、どのような要因により生じているのかを、10 行以内で説明しなさい。
- 問 2 2022 年以降の金利の上昇は、家計や企業にどのような影響を与えているのかを、具体例を挙げながら 15 行以内で説明しなさい。

問題－B

近年、営業パーソンの必要性に対して疑問を投げかける「営業不要論」が出ている。これに関して、以下の 3 問すべてに回答しなさい。

- 問 1 なぜ「営業不要論」が出てきたのかを、5 行以内で説明しなさい。
- 問 2 「営業不要論」の妥当性について、複数の業種における事例を挙げながら、10 行以内で論じなさい。
- 問 3 これからの時代、営業担当者には何が求められるかを、10 行以内で論じなさい。

＜以下、余白＞